

科目名		21. 介護総合演習Ⅱ	
担当講師	古川太基／黛真人／ 魚屋真佐江	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 60 時間・2 単位	開講学年	2 学年 通年
評価基準	筆記試験：30% 実技試験（実習後の報告会）：30% 提出物 40% 出席点：減点方式（欠席数 × -2 点）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各実習段階の意義・目的を理解し、より効果的な実習になるように準備を行う(知識の再確認・技術練習・介護過程の理解・記録の書き方など)。 ・実習での学びを整理し、介護福祉士としてのあり方を理解する。その中で自己の課題を見つけ出し、成長に繋げる。 ・実習報告会を通して他者の学びを聞き、視野や見識を広げる。 ・介護福祉士として人に伝える能力の向上を図る。 		
回	講義内容	方法	
1	オリエンテーション 実習Ⅰ-(3)の特徴と各書式の配布	講義・演習	
2	Ⅰ-(3) <u>実習事前学習①</u> 実習目標の確認	提出①	講義・演習
3	Ⅰ-(3) 実習事前オリエンテーション	提出②	講義・演習
4	Ⅰ-(3) <u>実習事前学習②</u> 実習前の最終確認	講義・演習	
5	Ⅰ-(3) 登校日 <u>実習中の学びの整理</u> 「アセスメント」について	講義・演習	
6			
7	Ⅰ-(3) <u>事後学習①</u> 実習後の学びの整理 「生活課題をもう一度見直す」	講義・演習	
8			
9	Ⅰ-(3) <u>事後学習②</u> 1.Ⅰ-(3)振り返り 2.報告会準備	提出③	講義・演習
10	Ⅰ-(3) <u>事後学習③</u> 報告会準備①	講義・演習	
11	Ⅰ-(3) <u>事後学習③</u> 報告会準備②	講義・演習	
12	Ⅰ-(3) <u>事後学習④</u> 実習報告会	実技試験①	演習・試験
13	※テーマに沿ったパワーポイント資料を作成して、発表をする。		
14	Ⅰ-(3) <u>事後学習⑤</u> 実習ファイル返却	講義・演習	

15	II <u>実習事前学習①</u> 実習 II の特徴と各書式の配布 実習目標の確認	提出④	講義・演習
16	II 実習事前オリエンテーション	提出⑤	講義・演習
17	II <u>実習事前学習②</u> 実習前の最終確認		講義・演習
18	II 登校日① <u>実習中の学びの整理</u>		講義・演習
19	「アセスメント」について		
20	II 登校日② <u>実習中の学びの整理</u>		講義・演習
21	「介護計画の立案」について		
22	II 事後学習① <u>実習後の学びの整理</u>		講義・演習
23	「評価 ～新たな課題の確認～」		
24	II 事後学習② 1. II 振り返り 2. 報告会準備	提出⑥	講義・演習
25	II 事後学習③ 報告会準備		講義・演習
26	II 事後学習④ 報告会準備		講義・演習
27	II <u>事後学習⑤</u> <u>実習報告会</u>	実技試験②	演習・試験
28	※実習で担当した利用者の生活場면을演じて振り返る。		
29	まとめ・振り返り	提出⑦	講義・演習
30	筆記試験		試験
テキスト・参考書		最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 中央法規 最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程 中央法規 介護実習の手引き・記録用紙・その他配布資料 【講義を受けるにあたって】 1 年次に用意した物品を継続して使用すること。 (実習ファイル※学校で預かっている、紙ファイル※保存用、 ボールペン【黒・赤・青】、メモ帳、訂正印など)	